

清新第二小学校応援団実践報告書

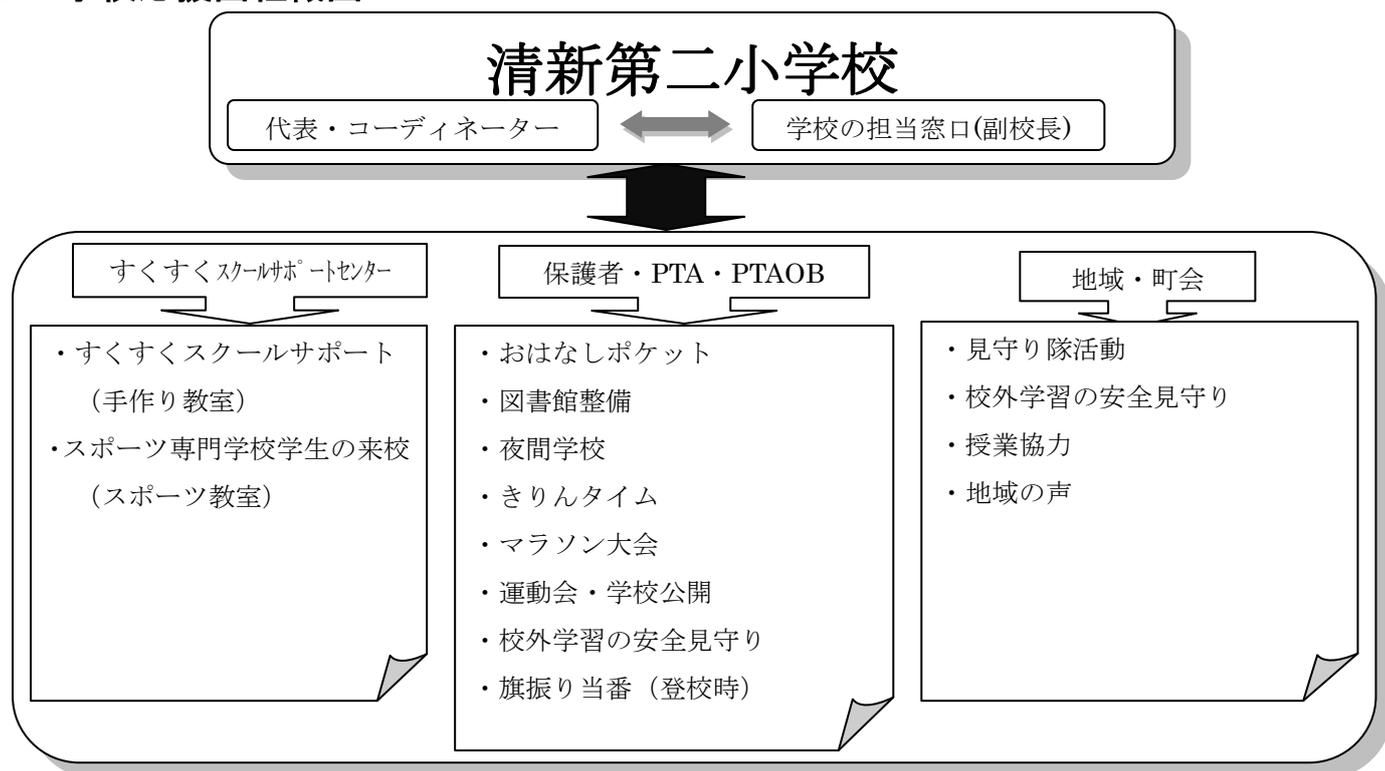
1 校長及びコーディネーター氏名

清新第二小学校長 前沢 蔵人
代表 神宮司 英津子

2 今年度の活動内容

応援団の種類	応援団の名称	活動内容
安全・安心	旗振り 朝の交通見守り 安全教室 校外学習の引率 マラソン大会	○登校時の安全を見守る。 ○通学路で登校の安全を見守る。 ○自転車教室等でのお手伝い。 ○校外学習をするときの安全支援。 ○マラソン大会での安全確保。
学習活動	きりんタイム支援 夜間学校支援 環境学習支援 調理実習支援 生活科学習支援	○小テストの答え合わせ、丸つけ等の支援をする。 ○夜間学校での体験活動を支援する。 ○安全を見守り環境学習の支援をする。 ○安全を見守り技術指導の支援をする。 ○安全を見守り生活科学習の支援をする。
読書活動	おはなしポケット（読み聞かせ） 図書室整備	○学級に入って本の読み聞かせをする。 ○本の修理や本の整頓を行う。

3 学校応援団組織図



4 今年度の成果と今後の課題

<成果>

本校は小規模校のため教員数も少ないが、その分PTAや学校応援団に支援していただく場面も多くなっている。本校の特色ある教育活動として「きりんタイム」と「夜間学校」があるが、「きりんタイム」は月曜日の1校時前半に学校応援団の方に来ていただき基礎基本の定着を図る活動を行い、「夜間学校」ではとくに父親に協力していただき共同料理や学校探検を行っている。教員だけでは人数不足で実施が難しい活動に学校応援団の方が協力していただけることで、他の大規模校にも負けない教育活動を行うことができています。

<課題>

家庭数の減少により、学校応援団の中心メンバーである本校保護者の数も年々少なくなっている。そのため、「きりんタイム」や「おはなしポケット」の活動を支援して下さる方が必要数集まらないこともあった。保護者数自体が少ないので難しい面もあるが、積極的に声をかけて人数を確保していきたい。

5 代表より

本校では、小規模校を活かした学校応援を実施している。保護者は子どもたちの一人一人をよく理解し、また地域と学校も互いに理解し合っている。これは朝の旗振りや交通安全の見守りなどから日常的に子どもたちに接しているからである。また学校内でも「きりんタイム」や「おはなしポケット」などにより、校外では見られない子どもの様子を見ることもできる。これは子どもたちの良さの発見にもつながっている。さらに本校では、運動会や夜間学校などでは、日頃の活動になかなか参加できないお父さんの応援をいただいている。小さい学校ではあるが、できる人ができる時に学校を応援するというスタイルも定着しているといえよう。今後も今までの活動を継続していく予定である。

ただし、児童数の減少により応援団の数に限りがあることも現実である。今後、OBとの連携を密にして、学校を応援していく予定である。

6 学校長より

本区の学区域は、ほとんどが集合住宅で占められている。かつてはマンモス校と言われるほどの大規模校であったが、30年の歴史を刻む中で少子高齢化が進み、現在では小規模校になっている。そんな中、保護者や地域の人々からは、子供たち一人一人の顔が分かり、温かく見守っていただいている。

学校応援団としては、やはりPTA・保護者の力が絶大である。少数精鋭で子供たちのためにがんばってくれている。すごいのは、PTA・保護者のOBの方々が、今でも学校を応援してくれていることである。また、お父さんたちの応援が増えてきていることも嬉しいことである。地域においては、自治会長さんや民生児童委員さん達が、いつもいつも温かな目で見守って下さっている。

応援団の方々は、規模は小さくても、家族的で温かな雰囲気のある学校をつくって下さっている。